

2024年7月10日

各位

会社名 Chordia Therapeutics 株式会社
代表者名 代表取締役 三宅 洋
(コード番号：190A 東証グロース市場)
問合せ先 財務部長 久米 健太郎
TEL：03-6661-9543
MAIL：ir@chorditherapeutics.com

みずほ銀行主催「Mizuho Innovation Award 2024.2Q」を受賞

Chordia Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅洋）は、株式会社みずほ銀行（本社：東京都千代田区、頭取：加藤 勝彦、以下 みずほ銀行）が四半期ごとに有望なイノベーション企業を表彰する「Mizuho Innovation Award 2024.2Q」受賞企業に選定されたことをお知らせします。



当社は、「Mizuho Innovation Award」を受賞したことによってみずほ銀行より提供していただける大企業とのビジネスマッチングを十分に活用することで、自社での抗がん薬の製造・販売を目指すために必要な将来的なネットワークを更に充実させてまいりたいと考えております。

受賞理由について

Chordia therapeutics は武田薬品工業からカーブアウトし、京都大学との共同研究を発展させ、これまでにない新しい作用機序の低分子抗がん剤を開発している企業です。設立以来、三宅社長の卓越したリーダーシップのもと、経験豊富なメンバーが自社での研究開発を着実に進めてこられたこと、そして小野薬品工業と大型のライセンス契約を締結されていることなどを高く評価させていただきました。上場された今、今後ますます開発を加速し、新薬の創出に成功した日本を代表するバイオベンチャーとなられることを大いに期待しております。

Mizuho Innovation Award」について

「Mizuho Innovation Award」では、四半期ごとに、ビジネスモデルの優位性、チーム力、成長可能性などを評価の軸として対象企業を選定し、表彰していきます。なお、受賞企業には、大企業とのビジネスマッチングなど各種サポートを実施し、イノベーション企業の成長を力強く支援していきます。

Chordia Therapeutics 株式会社について

当社は、臨床開発品を擁するがん領域専門の研究開発型バイオベンチャーとして、神奈川県藤沢市を本社として活動しています。私たちのリードパイプラインである CLK 阻害薬 CTX-712 は、日本での第 1 相臨床試験と米国での第 1/2 相試験を進行中です。CTX-712 は、がんの脆弱性をターゲットにしており、有望な治療薬としての可能性が期待されています。また、当社は、リードパイプラインの CTX-712、小野薬品工業に導出された MALT1 阻害薬 CTX-177 (ONO-7018) に加え、CDK12 阻害薬 CTX-439、GCN2 阻害薬など、複数のパイプラインの研究開発に取り組んでいます。詳細は、当社ウェブサイト (<https://www.chorditherapeutics.com/>) をご覧ください。